



民進党の辻元清美氏の質問に対し、稲田朋美防衛相（奥）に代わって答弁する安倍晋三首相
14日午前、衆院第1委員会室（斎藤良雄撮影）

稲田氏狙いは 「息ぴったり」

民進党や共産党は14日の衆院予算委員会で、稲田朋美防衛相に集中的に質問を浴びせた。民進党の辻元清美氏は、南スーダン国連平和維持活動（PKO）派遣部隊の日報の問題に絡み「シリアの内戦は『戦闘』か『衝突』か」と定義をたじたが、稲田氏は「法的な評価をしていない」などと曖昧な答弁に終始した。

首相助太刀に「駆け付け警護やめて」

長島昭久氏は陸上自衛隊の垂直離着陸輸送機オスプレイの調達計画を尋ねたが、稲田氏は満足な答弁ができず、審議はたびたび中断。後藤祐一氏と共産党の笠井亮氏は稲田氏の辞任を求めた。

民進党の山井和則国対委員長は記者会見で「稲田氏の資格は極めて疑わしい。審議で厳しく問いただした

い」と宣言。予告通り民進党議員は次々と稲田氏に焦点を当て、資質をあぶり出す目標は達したようだ。

もつとも、稲田氏が答弁に詰まるたびに安倍晋三首相が「代打」として積極的に登場。ペースを狂わされた後藤氏は「『駆け付け警護』はやめて」と訴え、辻元氏は「首相に助けてもらわないと答弁できない。『蚊帳の外大臣』と言われかねない」と語気を荒らげた。